

1 研修の目的

ALS 患者、その家族、支援者等に対して、医療、介護、福祉制度などの理解を深め、患者、家族の生活の質(QOL)を高めるための一助とする。

2 研修内容及び具体的なねらい

- (1) 医師、研究者等を招き、ALS に関する医学的な情報や理解を深める。
- (2) 看護師、各療法士等を招き、看護・介護等に関する理解や技術等を高める。
- (3) 県や市等の福祉担当者を招き、介護や福祉サービス等について理解を深める。
- (4) ICT 救助隊等の専門機関を招き、コミュニケーション機器等の理解や支援技術等を高める。
- (5) 会員同士の発表会や情報交換会を設け、療養生活の改善に生かす。

3 研修を実施するにあたって

- (1) 回数 年1～2回
- (2) 内容 上記内容及び、次年度より、会員へのアンケート結果等を参考に検討
- (3) 場所 研修内容、参加者によって選定(医療センター、リハセンター、その他)
- (4) 参加 会員、非会員患者・家族、関係機関、関心がある者等
- (5) 予算 今後、県外講師等招くために必要な経費を積み立て、運用にあてる。
- (6) 記録 実施ごとに参加者より感想等をいただき、支部だより「きぼう」で情報発信する。
- (7) 連携 関係機関等(かがわ総合リハセンター等)の研修会への参加の機会を増やす。

4 H29 年度の研修会について

(1) 研修内容の候補

- ① 市原先生に講演していただく。

県内の ALS 医療に携わる市原先生の話は、患者・家族にとって大変関心があり、今後の支部活動を進める上でも有意義である。

- ② 県等の難病担当者に講話していただく。

県等の社会保障や福祉サービス等を、「ケア制度のガイドブック」に照らしながらお話しいただき、制度利用について理解を深める機会としたい。

- ①を第一候補とするが、断られたら②を実施予定。

(2) 期日、場所

- ・期日 10～11月の土曜か日曜日（無理なときは1～2月）で依頼
- ・場所 医療センター、リハセンター、その他

※参加数、部屋の広さ、設備（マイク、プロジェクター、スクリーン等）を考慮し選定